

B-142 階段における裾巾の変化
和洋女大 文家政 村田八千代 滝沢初美 オカ丸テル子
早大 教育 伊藤秀三郎

目的 前回で裾巾と歩巾との関係について、裾巾が歩巾に対して最小限100cm以上は必要である事を述べてきましたが、その中にもとずいて、今回は階段における、膝の位置においこの裾巾、尚階段の高さによる影響を、又ロングスカート裾の余分値を検討しようとして実験を試みた。

方法 被験者には、学部二年被服学科の学生約70名を選び、階段の高さ16.5、24.0、30.0及び42.0cmにおいて、スカートの裾巾がどう変化するか、X'ージャーを用い、スカートの裾、膝、足首の位置で測定し、又ロングスカートにおいては写真によつて裾の余分値を測定した。

結果 以上の実験から次の事が考えられる。

- (1) 普通歩行による裾巾と階段を昇るさいの裾巾では、階段の高さによつて両膝の位置で異なる事を見出した。
- (2) ロングスカートで階段を昇るさい、裾巾に余分値を見出した。